

## 1 ブログやツイッターに潜む危険 ～ 自分や他人を傷つけないために ～

### ① 匿名の落とし穴

匿名で書き込みできる便利なツール

↓ 匿名という安心感

何気ない書き込み、不用意な発言をすると....

↓ ネットユーザーによって調べられて

個人名、写真などがネット上に公開される

↓ 世界中のネットユーザーが閲覧可能となり

誹謗中傷にさらされる → 炎上！

友達に被害が及ぶことも

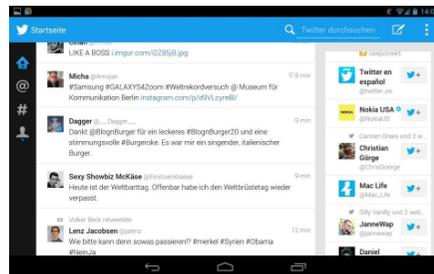


### ② 安易な書き込みによって

- ・自分が傷つく
- ・友人や友達など第三者を傷つける
- ・友人や第三者に迷惑をかける
- ・学校や企業などの名誉を傷つける
- ・自分の将来を危うくする

### ③ ネット上に書き込みをするときには

- ・不特定多数の人が見るもの
- ・簡単に個人が特定されるもの
- ↓ ということを
- しっかり認識すること！



### ④ 情報発信のルール

- ・第三者のプライバシー公開や名誉を傷つける書き込みはしない！
- ・つくり話でも、自分や他人が違法行為をしたという内容の書き込みはしない！
- ・他人の著作物を無断で使用しない！

↓

発信する情報に責任と常識を！

～ 成蹊大学ホームページから ～

## 2 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)に関する事件

※ 昨年度も紹介した記事ですが、重要な内容だと思われるので、再度紹介します。

### ①慶大生がLINE「死んでくれ」で逮捕

LINEで「死んでくれ」とメッセージを送り、自殺をそそのかした疑いで、大学生(21歳)が逮捕された。亡くなったのは交際していた女子学生(21歳)で、LINEのやりとりの後で、自宅マンションから飛び降りた。報道によると、自殺教唆の疑いで逮捕されたのは慶應大学法学部3年生。無料で通信やメッセージが送れるアプリ「LINE」を使い、交際していた女子学生に「お願いだから死んでくれ」などとメッセージ7通を送信した。その後、女子学生は東京都内の自宅マンション8階から飛び降りた。女子学生は男からのメッセージを見た後、友人に「死にます」と送信。両親宛ての遺書もあったという。



### ②「写真投稿」の事例

	問題になった時期	都道府県	主な行動・行為	その後、投稿者がどうなったのか
1	2011年7月	福岡県	自転車の飲酒運転をしたことをTwitterで告白	・プロフィール, mixi 等他 SNS 情報等より実名, 所属大学名が特定され掲示板サイトに書き込まれる。 ・大学より停学処分を受ける。
2	2013年3月	大阪府	男子大学生が複数名でテーマパークでの迷惑行為を行い、ブログやTwitterにその内容を投稿	・プロフィール, mixi 等他 SNS 情報等より実名, 所属大学名が特定され掲示板サイトに書き込まれる。 ・威力業務妨害容疑で家庭裁判所に送致される。
3	2013年6月	高知県	コンビニエンスストアのアルバイト従業員が売り場のアイスクリーム用冷蔵庫に入り、写真をFacebookに投稿	・アルバイト先から解雇される。 ・名前, 住所が発覚
4	2013年7月	京都府	10代のアルバイト店員が、店内の冷蔵庫に寝そべった写真をTwitterに投稿	・アルバイト先の企業より「社内規定に基づき処分の予定」と公表される。 ・投稿者自身の住所と思われる情報が掲示板サイトに書き込まれる。
5	2013年8月	北海道	10代の少年がパトカーの屋根に上り、その写真をTwitterに公開	・器物破損容疑で逮捕される。

《 保護者の皆様へ 》

携帯電話(スマートフォンを含む)やインターネットの利用については、以前から注意を呼びかけています。悪用されたり、使い道を誤ったりすることもあるようです。上記の①, ②の例は、その一部でしかありません。使い方についてお子さんとよく話し合っ、家庭内ルールを決めたり、制約を設けさせたりすることが必要です。御自分のお子さんが携帯電話をどのように利用しているか、具体的に把握することをお勧めいたします。